

学校給食研究会栄養士部会だより

文責 部会長 横田みえ子

立春が過ぎ、暦の上では春ですが、まだまだ寒さは続きそうです。会員のみなさんには年度末に近づき、日々の献立作成、栄養指導、食育指導だけでなく、まとめの時期として忙しく仕事をされていることと思います。さて、第84号の会報でお知らせしたとおり、2月から待望のホームページが開設されました。ご覧になりましたか。7方部の役員の方々のおすすめ献立や給食だより、献立表が掲載されて見やすく、活用しやすくなっています。今後も、会員のみなさんから意見やアイデアを出していただき使いやすいものにしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

「学校給食と食育展」

今年度福島県教育委員会では、1月24日から全国学校給食週間に合わせ、県庁において広く学校給食や食育への関心を高めるため、「学校給食と食育展」を実施されました。

☆ 杉教育長をはじめ、参事や次長も足を運んでくださり、展示をご覧になりました。



【県庁食堂では4日間にわたり1日50食限定での学校給食メニュー提供】

相双方部の「いざ出陣給食」



- ・貝柱ごはん
- ・カツオの揚げ煮
- ・きゅうりの昆布入り漬け物
- ・すまし汁
- ・勝ち栗
- ・牛乳

いわき方部の「農業高校とのコラボ給食」



- ・ごはん
- ・ビーンズシチュー
- ・小松菜とエリンギのソテー
- ・ヨーグルト
- ・牛乳

県中方部の「春を感じる給食」



- ・菜の花ごはん
- ・いかの香味焼き
- ・アスパラサラダ
- ・春キャベツのみそ汁
- ・アップルシャーベット

南会津方部の「春のお祝い給食」



- ・古代米寿司
- ・焼き肉サラダ
- ・ししゃもの米粉揚げ
- ・ことじ
- ・祝い大福
- ・牛乳

県庁食堂では、1/24 相双方部の「いざ出陣給食」	12時半完売、
1/28 いわき方部の「農業高校とのコラボ給食」	12時20分完売、
1/29 県中方部の「春を感じる給食」	12時12分完売、
1/30 南会津方部の「春のお祝い給食」	12時10分完売

健康教育課の田村先生は、「とても好評でした。男性職員の多い職場なので、来年度は高学年の量にした方がいいかという反省もありますが、健康を考えるとちょうどよい量かもしれません。」とおっしゃっていました。本部会でも、献立の提供と併せ県内の学校で可能な限り同じメニューを実施し協力させていただきました。ありがとうございました。

なお、月刊「学校給食」3月号にも今回実施した献立の他、県北方部、県南方部、会津方部の献立が掲載される予定です。

学校給食研究会栄養士部会だより

文責 部会長 横田みえ子

「食でつなぐ子どもたちの未来」発刊によせて ～栄養教諭・学校栄養職員の記録・経過～

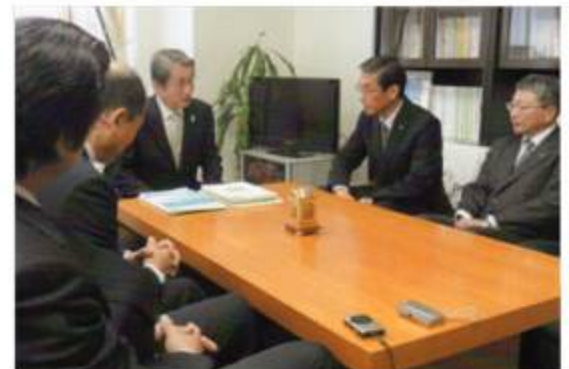
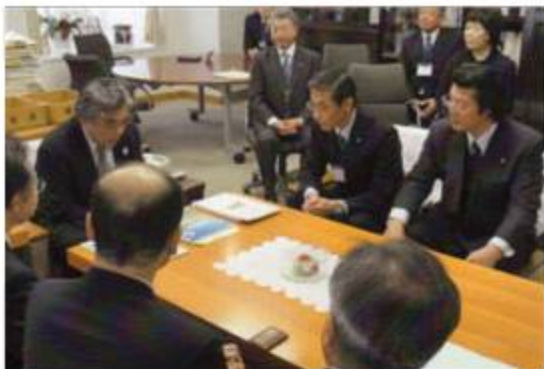
平成25年2月に多くの先生方の協力をいただき栄養士部会としての記録誌「食でつなぐ子どもたちの未来」～栄養教諭・学校栄養職員の記録・経過～が完成しました。

記録誌発送については、2月16日（土）県北方部の先生方にお手伝いをいただき、公益財団法人福島県学校給食会をお借りして行いました。封筒のラベル貼り、袋詰め作業など手際よく進めることができ、午後2時には完了することができました。ありがとうございました。

また、県内の小中学校への配布については、県小中学校長会理事会の際、各支部の校長先生にお願いすることができました。東日本大震災の被害を受けた会員の想いを、様々な方々のお力添えのおかげで、県内の小中学校や会員に届けることができたこと、とてもうれしく思います。今後は、この記録誌を各学校で食育の一環として活用していただけるよう会員の働きかけをお願いいたします。



【平成25年2月14日（木） 文部科学省訪問】



平成25年2月14日（木）に、福島県小学校長会会長：丹野学先生をはじめ、事務局長：福井一明先生、事務局次長：佐久間裕晴先生が、文部科学省を訪問され県小学校長会の記録集と共に、栄養士部会の記録誌を一緒に届けてくださいました。上の写真はその時の様子です。お忙しい中、本当にありがとうございました。この記録誌は、全国栄養教諭・学校栄養職員協議会からいただいた義援金をもとに作ったものです。会員の協力の下、全国46都道府県と理事の方々に感謝の気持ちを込めてお送りすることができました。

【訂正をお願いいたします。】

相双方部 ② 相馬市立中村第二小学校
佐藤優美さんの原稿に一部誤りがありました。P5下から10行目「檜葉北小と檜葉南小」→正しくは「双葉北小と双葉南小」です。学校名を間違えましたこと深くお詫び申し上げます。訂正をお願いいたします。

【お知らせ】

<県南方部>

白河市大信学校給食センター 上遠野朋子さんから「東日本大震災3.11の記録」と題して原稿が寄せられました。ありがとうございました。

記録誌とあわせて読んでいただきたいと思います。

○ 震災当日(3月11日)について

当時、前任校の矢吹町立矢吹中学校に勤務。卒業式終了後、遅い昼食をとり、職員室で事務処理をしていた。まず廊下に出て様子を見ていたが揺れが激しくなってきたため、校庭に避難した。教室にいた職員や外出していた職員もいたが、職員全員の無事が確認された。校舎は見る見るうちにゆがみ、壁には亀裂が入り、とても中に戻れる気にはなれなかった。しかし、ほとんどの職員が何も持たずに出てきてしまったので、揺れの落ち着いているときを見計らい、自動車の鍵や携帯電話など必要最低限のものを取りに戻った。その後、校長先生の指示のもと帰宅した。

※ 給食施設・学校・児童生徒の被害について

卒業式で給食はなかったため、給食室には調理員はいなかった。食器保管庫などが少しずれた程度だった。エレベーターは使用不可能となった。ランチルームは、テーブル下にかけておいた椅子がすべてとびだし散乱。テレビ1台が落下。ランチルームと廊下の間に5cm程度の隙間ができていた。

生徒は卒業式終了後帰宅していたため被害はなかった。家屋が半壊、一部損壊し、避難所にいた家庭はあった。

○ 翌日から3月末までについて

校舎に入れる状況ではないので休校となった。(水道も止まっていたため、給食は当然実施できる状況ではなかった。)給食を停止した分の給食費は次年度の4月に返金した。卒業生については、卒業後の欠食分としてすでに対応していたので問題はなかった。

○ 平成24年度 4月の様子について

矢吹中学校は24年度より新校舎に引っ越す計画だったため、給食が実施できずに業者委託による弁当の予定だった。委託業者は震災による被害もなく予定通り実施できるということで弁当給食が開始となった。

○ 平成24年度 5月から7月の様子

引き続き、業者委託による弁当給食の実施。

○ 2学期から3学期の様子

8月の人事異動で、現在の大信学校給食センターでの勤務が始まる。

当センターの被害も大きく、給食実施できる状況ではなかった。1学期間は簡易給食や業者弁当を実施していたとのこと。

2学期からは白河市学校給食センターに大信地区の小・中学校分の給食をお世話になった。白河市学校給食センターから頂いた献立表をもとに食材の使用量を算出し、各業者への発注業務を行った。調理業務は当センター調理員5名のうち2名が白河センターへ出勤し調理作業に当たった。残りの3名は当センター近くの環境改善センターの調理室で幼稚園分の給食作りを行った。幼稚園分の献立作成・発注と小中学校分の発注など事務処理はかなり混乱した。

すべての復旧工事が終了し、11月中旬より当センターでの給食業務が始まった。再開するに当たっては、県南保健所によるご指導を参考にした。

また、白河市教育委員会では放射性物質測定システムを導入し、検出限界値1kg当たり30ベクレルを超える放射性物質が出た場合はその食材を使用しないという方針で実施する(現在は合算25ベクレル)。大信地区の地場産物についても、このシステムにより安全性が確認されたもののみ使用することができた。早い時期にこのシステムが導入されていたことはとても良かった。